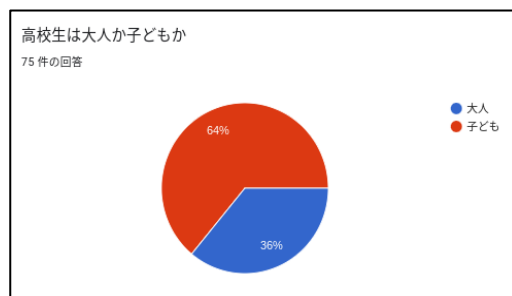


(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立和気閑谷高等学校	
実践者等		臼井 達哉	実践日 令和4年6月14日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		公民 現代社会(青年期の意義)	
対象生徒(学年等)		普通科2年生	
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化 ☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用 ☒ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化 ☐ その他()	
		☒ 振り返り ☐ 探究 ☒ 反転学習 ☐ 補習・定着	
実践の内容			
【授業】 (1) 予習で行ったFormsから「高校生は大人か子どもか」という問いの答えをクラス全体で共有する。その際、ペアでその理由を意見交換させる。 (2) 説明 青年期における特徴について説明をする。 (3) グループワーク Jamboardの付箋機能を使い「高校生の悩み」を数多く入力し、スライドに添付していく。 (4) クラスで共有 その他のグループのJamboardを確認し自分達のグループの「高校生の悩み」を客観視する。 (5) グループワーク グループで出た高校生の悩みを「心の悩み」「体の悩み」「人間関係」などの仲間分けし、自分たちのグループでは何に一番悩んでいるかに気づかせる。 (6) まとめ・ふり振り返り ・Formsをつかって本時のふり振り返りを行う。 ・青年期の悩みにどのように向き合っていくかという問いの答えに回答させる。			
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) ・クラスルームに投稿しているFormsに回答させ、本時の問いについて考えてくる。 (本時後) ・青年期の悩みにどのように向き合っていくかという問いについて考えていく。			



実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)